



おつきあいのマナーかるたとは

大阪府立大学の佐保美奈子准教授率いる「大阪府立大学セクシュアリティ教育プロジェクト」が制作した、性教育授業に使用するツールです。

誰もが経験のある「かるた」を用いることで、緊張することなく楽しい遊びの感覚で、性に関するさまざまな情報（身体に関する知識や、人と付き合う際のマナーなど）を学ぶことができます。

高校1年生から2年生の春までを主なターゲットとしていますが、年齢問わず利用できます。

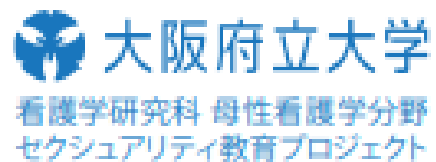
いくつかの大阪の府立高校で、大阪府立大スタッフによる性教育出前授業の一つとして、人権教育、保健体育、その他課外授業で使用されています。

お付き合いのマナーかるた開発の経緯

大阪府立大セクシュアリティ教育プロジェクトは、高校1年生を対象にクラス単位でデートバイオレンス予防のワークショップを15年前より実施していましたが、男女交際未経験の生徒は参加しにくい実情がありました。

そこで誰もが遊び感覚で参加しやすい「かるた」という形態をとることで、どの生徒も授業に参加しやすくなるのではという発想でから「お付き合いマナーかるた」が生まれました。

各種メディアにも取り上げられ、全国から要望がありましたが、大学だけでは商用化が難しく、かるたの製品化、販売をTENGAヘルスケアがお手伝いすることになりました。



X



かるた制作者プロフィール



名前：佐保 美奈子

所属：大阪府立大学 看護学部

家族支援看護学

母性看護学助産学

職名：准教授

大阪府立大学セクシャリティ教育プロジェクトは平成16年度より活動をはじめ、年間15校の高等学校などに出前講義を行う。平成25年度は17校、合計4069名の生徒にクラス単位のワークショップや一斉講演を実施した。出前講義のテーマは希望に応じて、①デートバイオレンス予防②エイズ、性感染症予防③自分探しなど様々である。

詳細はこちら👉 http://kyoindb.osakafu-u.ac.jp/html/101150_ja.html

絵札の例



絵札、読札の裏面のQRコードから解説が確認できます。

読み札と絵札が
すべて両面に描かれていて、札
を取った後、生徒が気になる札
を読み上げることができます。



札の構成

絵札



愛情は、
セックスだけでは
はかれない



読み札

愛情は、
セックスだけでは
はかれない

☆ポイント☆

- ①自尊心
- ②他者との距離の取り方（NOといえる関係）
- ③高校生はNO SEX
- ④同意のないSEXはDV（レイプ）になる
- ⑤「ぬ」の札とも関連付けて



[セイシル](#)サイト内
かるた特設ページ

中高生の性のモヤモヤ
にこたえる情報サイト

『[セイシル](#)』

2019年12月18日
OPEN

すべて 恋愛・セックス 男性のからた 女性のからた 妊娠・中絶 避妊 性感染症 多様な性 マスターベーション 性暴力



愛情は、
セックスだけでは
はかれない

笑顔でみつめあう。会話を。
手をつなく。温める姿を応援する。
それらのことでも愛情は感じられます。相手を思う気持ちはSEXでなく
ても伝えられます。
大事に思うからこそSEXしないという選択もあることを知って、尊重し
ましょう。

伝えたいポイント

- ① 自尊心
- ② 他者との距離の取り方（NOといえる関係）

実際の授業の様子



仲良しグループ
6つに分かれて



授業時間
は50分



2019年5月@大阪府立の高校

大阪府立大学看護学研究科講師チームによる1クラス毎のワークショップ形式による出張授業

(人権教育の一コマを使用)

授業の流れの例

時間 (分)	ファシリテーター1名	アシスタント（グループ毎1名）
5	あいさつ、自己紹介（お題） 授業のねらい	前に一列に並ぶ、笑顔 自己アピール30秒
15	おつきあいのマナーカルタ 文章を読み上げる、短くコメントする	カルタに参加する 生徒に様子を観察する
10	取ったカルタの中から 1枚を選んで、感想を言い合う	感想を順番に聞いていく 話し手に集中して 思いを聞く手本になる
10		ディスカッション・シートで グループメンバーと討論
7	まとめ 「デートバイオレンスについて」 3つ折りリーフレットの紹介	前に一列に並ぶ
3	クラス担任よりメッセージ	

性教育にかるたを用いることの効果

- ①誰もが経験のある「かるた」を用いることで、緊張することなく、遊びの感覚で楽しくはじめることができ、アイスブレイキングに適しています。
- ②性の話を一方的に講義形式でしても、なかなか生徒に興味を持たれづらいですが、かるたで盛り上げるにより、授業内容の吸収向上が期待されます。
- ③かるた読み上げ文の大切なメッセージが「五七五」のリズムで自然に耳から入り、繰り返し口にしやすい、頭に残りやすいです。
- ④生徒との距離が縮まり、自然に生徒と関われます。
- ⑤生徒との普段の関わりだけでは見えてこない問題等が見えてくることもあります。
- ⑥教員や生徒が一丸となって、性への意識が高まります。